発行:社会福祉法人 沼津市社会福祉協議会 / 発行日:令和7年1月10日

ふくしたいけんしんぶん
福祉体験新聞
福祉のこころはぐくみ新聞
小学生編

福祉の仕事を体験しよう！

小学生の福祉に関する職業体験の機会として、**キッズケア**が開催されました。

当日は、午前・午後合わせて40名以上の小学4～6年生が参加し、6種類の職業のうち、2～3種類の職業を体験しました。このキッズケアは、小学生が福祉を身近に感じ、将来の選択肢が広がることなどを目指し、沼津市社会福祉協議会が企画したものです。

参加者の中には「将来はまだ決めていないが、昨年このキッズケアに参加して福祉の仕事に興味を持った。今年は特に介護士が気になったので2年連続で参加した」と話す小学6年生もいました。

2024 10.5(土) 会場 サンウェルぬまづ

お年寄りの「生きる」を支える介護士

お年寄りや体の弱い方に寄り添い「生きる力を取り戻す」お仕事をしていると、家での介護をサポートするケアマネジャーさんが話してくれました。

高齢者擬似体験セットでおもりや視界をさえぎる眼鏡をつけて室内を歩き、お年寄りはどのようなことが不便なのかを学びました。その後、車いすなどの介護器具の説明を聞きながら実際に使い、器具の扱い方や自分で動かすコツも習得しました。参加者の皆さんは、お年寄りの体の不自由さや生活をする中での危険な場所の多さなどに、体験することで初めての気づきがありました。

子どもと保護者を手助けする保育士

子育てと仕事の両立を目指す保護者の方の代わりに子どもを預かり「子育て」をします。そこで今回は、赤ちゃんの抱っこの仕方や着替え、お風呂、ミルクをあげるなどの必要な育児を、赤ちゃんのお人形を使って体験しました。

参加者の皆さんは、首がグラグラしないように優しく抱っこしていました。紙人形を作成して歌に合わせて紙人形芝居をするペープサートも短時間ですぐに覚え、上手に発表することができました。保育園が第2のお家として、子どもたちには楽しく、保護者の方にも安心してもらえるように気を配って仕事をしていることも教えてくれました。

発行 社会福祉法人 沼津市社会福祉協議会
〒410-0032 沼津市日の出町1-15 サンウェルぬまづ(ぬまづ健康福祉プラザ)内
TEL. 055-922-1500 FAX. 055-922-1502
http://numazu-shakyo.jp info@numazu-shakyo.jp
沼津社協ホームページ X(旧Twitter) Instagram

栄養で健康を管理する 管理栄養士

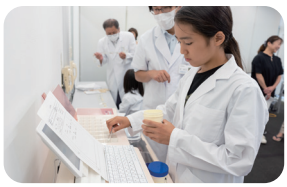
健康な人から病気の人まで、どんな人にもひとりひとりに合わせた栄養管理をするお仕事です。また健康な人に向けて栄養指導や給食の運営などもしています。

管理栄養士と栄養士の仕事の違いや栄養素についてしっかり教えてくれました。また福祉施設での調理の時に食材の大きさに気をつけていることも聞きました。お年寄りや病気の方が食材を喉につまらせないよう「とろみ」をつけた食材の試食や、ペーストになった食材の味を当てるゲームでは大きな声で答えを言うなど、楽しんで体験することができました。

お薬の専門家として人々に寄り添う 薬剤師

薬局でのお仕事だけでなくスポーツ選手に寄り添ったり、学校の照明やプールの調整をする仕事もあります。

白衣に着替えてから始まった体験では、仕事の内容や薬剤師になる方法を聞きました。薬を分ける分包機で、ひとりひとりに合わせて薬を振り分けたり、薬剤師さんと患者さんになりきって薬局で処方箋の薬を出す際の説明をしました。白衣を着て薬を調剤し、説明をする姿は、本当の薬剤師さんのようでした。参加者の皆さんが薬の説明をとても上手にすることができていたので、薬剤師さんたちがとても感心していました。



生活ができるように手伝う 作業療法士

障がいなどにより食事や入浴、字を書く、コミュニケーションをするといった、生活における必要な作業が難しい人に対して、その人らしい生活ができるように援助（リハビリテーション）を行っています。その他、生活をしやすくするための自助具や装具を作っています。

利き手を怪我してしまった時を想定し、利き手ではない手で上手に字を書くため、様々なアイテムを使って書きやすくする練習を行いました。クリップやスポンジといった100均などで販売している身近にあるもので、十分に書きやすくなることを知ることができました。

虫歯を直すだけじゃない 歯科医師

歯科医師さんの仕事は、治療や保健活動、研究などがあります。また歯科医師一人ではできない活動として、災害時の緊急活動や訪問診療、市町村との協力といった、地域の歯科医師会としての活動もあることを知りました。

歯科医師さんの使っている器具の使い方や虫歯について聞いたのち、実際に歯の模型と簡易的な歯科治療の機械を使って虫歯治療を行いました。キーンという独特の音がする本物の機械で虫歯をとると、参加者の皆さんの器用な手さばきに「みんなセンスがあるから、歯医者さんになろう」と歯科医師さんが驚いていました。

まとめ

今回のキッズケアでは、6種類の仕事の内容や、それらの仕事が福祉分野でどのような活動をするかを聞きながら体験をすることができました。どの体験も楽しみながら真剣に学んでいる参加者の皆さんの様子がとても印象的でした。また保護者の方も、興味を持って一緒に見学や体験をしてくださいました。

小学校で配られたチラシを見て興味を持ち、「管理栄養士になりたいから参加した」という小学6年生は、「管理栄養士という仕事がどういう仕事か分かったので参加してよかった」と話していました。

疑似通貨でお買い物

今回の職業体験では、体験することによってお給料に見立てた疑似通貨が発行され、体験後に駄菓子やパンの買い物をすることができました。また福祉器具や写真撮影ゾーンも用意されており、参加者の皆さんや保護者の方は、好きなお菓子やパンを購入したのちに、車いすや点字、高齢者疑似体験セットといった器具を試していました。